

## 付・2010年度 尾道学講座紹介

### 『尾道大学からの発信』

主催：尾道大学地域総合センター

日時：9月29日（水）から12月1日（水）

開場18：00

講演18：30～20：00

場所：しまなみ交流館 大会議室

### 【講座内容】

第1回 9月29日（水） 足立 英之（尾道大学 学長）

「尾道大学の歴史と役割」

尾道大学の歴史は、1946年に創設された尾道市立女子専門学校に始まります。その後、尾道短期大学を経て、2001年に4年制大学に移行しました。『尾道短期大学20年史』や『尾道短期大学50年史』などの史料にもとづいて、大学の発展に尽くされた先人のご苦勞を紹介しつつ、尾道大学が果たすべき役割と使命についてお話しします。

第2回 10月6日（水） 稲垣 一之（経済情報学科 講師）

「医師の不足と過重労働について」

日本の医師不足と医師の過重労働について、経済学を基礎にして解説をします。尾道市のような地方都市における問題についても言及したいと思います。

第3回 10月20日（水） 奥山 民枝（美術学科 教授）

「裡（うち）なる尾道」

1月から5月までなかつた美術館で開かれた個展、5月から7月まで朝日新聞に掲載された「わが尾道」と題したカットの連作、これらを手がかりに、画家として尾道とどうかかわり、影響されたかを、お話ししたいと思います。

第4回 11月10日（水） 兎玉 康兵（美術学科 教授）

「尾道の石造文化vol. 2」（江戸期の石造物）

瀬戸内の良質の花崗岩を使い、尾道の石工達が優れた独自の石造物を残しています。前回に続き「石のまち尾道」にスポットを当てます。

第5回 11月17日（水） 藤沢 毅（日本文学科 教授）

「尾道大学所蔵 下垣内文庫について」

尾道大学には、地方俳諧の研究者として知られる下垣内和人氏より寄贈を受けた俳諧コレクション「下垣内文庫」があります。このたび、目録が完成しましたので、その披露をしながら、下垣内文庫を紹介していきたいと思います。

第6回 12月1日（水） 楨林 滉二（日本文学科 教授、副学長）

「日本近現代文学に描かれた尾道—散文関係を中心に—」

尾道大学学内で開講している「尾道学入門」で、昨年、上記の題で話しました。その報告と続編（第2バージョン）を考えています。近現代、尾道はどのように描かれてきたか、そこに何があったか、あるか、です。